

## サンカノゴイ *Botaurus stellaris* (Linnaeus)

### 【選定理由】

伊勢・三河湾の沿岸部にある干拓地や埋立地のヨシ原、および平野部から丘陵部にある河川や池沼、湿地などのヨシ原で、春と秋の渡り期や越冬期の観察記録がある。繁殖期と思われる 5 月下旬の記録もあるが、その後鳴き声を含め継続した記録はない。越冬期の記録は何例もあるが、いずれも面積が広くヨシのよく繁った環境であるために、継続した観察は困難である。県内ではこれまで繁殖の確認はなく、越冬期の記録も渡来から渡去まで継続したものはない。

### 【形態】

全長 64~80cm、翼開長 125~135cm。全身が淡黄褐色で、頭頂は褐色。上面には褐色の虫くい状斑があり、顎線と頸から胸にかけての縦斑は褐色で太く明瞭。飛翔時は風切に褐色の横帯が出る。



島根県, 2002 年 12 月 31 日, 杉山時雄 撮影

### 【分布の概要】

#### 【県内の分布】

伊勢湾・三河湾沿岸部、平野部や山麓部の河川や池沼、湿地などで記録がある。

#### 【国内の分布】

北海道、茨城、千葉、滋賀で繁殖し繁殖地の周辺では周年生息する。その他の本州以南では冬期に生息し、北海道では主に夏期に生息する。

#### 【世界の分布】

ユーラシア中部、北アフリカ、南アフリカで繁殖し、北方のものは冬期に南下し、アフリカ、南アジア、東南アジアに生息する。

### 【生息地の環境／生態的特性】

広いヨシ原に生息して、昆虫類、魚類、両生類、爬虫類、小型鳥類、小型哺乳類などを捕食する。大型のサギはみな体が細く、止まっても飛んでもかなり軽く見えるものが多い中で、本種は体がかなり太く見え、地上でも飛翔中でも重量感が感じられる。繁殖地ではウシガエルの声に似た太く低い声で、ポォーッ、ポォーッと鳴く。

### 【現在の生息状況／減少の要因】

県内の飛来環境は干拓地や埋立地で、河川敷や山麓の水辺などでも記録がある。1980 年代の半ば以降は、確認記録が西三河地域に集中しており、水辺のヨシ原で確認されているが、近年特に沿岸部の干拓地や埋立地に存在していたヨシ原の大半が、太陽光発電パネルの設置や埋め立て、乾燥化などで消失している。

### 【保全上の留意点】

干拓地や埋立地の遊休部分に、淡水や汽水の湿地環境を復元する努力が必要である。過去に最も飛来数が多いのは、西尾市の衣浦 14 号埋立地である。広い水辺とヨシ原は矢作川浄化センターの排水温度を調節する水面となっているが、2000 年を最後に飛来しなくなった理由として、この水辺から生態系を形成する生物が減少していることが推測される。県内でも希有で貴重な環境であり、ここには在来生物で豊かな生態系が再生されるべきである。

### 【特記事項】

愛知県に最も近い繁殖地として、滋賀県の琵琶湖の南端にあるヨシ原が知られていたが、現在は埋め立てが進んでごく少数が残るのみという。

### 【関連文献】

吉井 正, 1984. 黒田長久編, 決定版 生物大図鑑 鳥類, p.47. 世界文化社, 東京.

(高橋伸夫)